

「変形性膝関節症とは」

日常生活の何気ないシーンで膝に違和感を覚えた経験がある人は少なくないでしょう。50歳以上だと(レントゲンの初見上)変形性膝関節症を発症している人は約2400万人いるとされており、これは実に50歳以上で約5割、60歳以上だと約6割が変形性膝関節症を発症しているというデータもあります。

変形性膝関節症になりやすい最大のリスク要因として挙げられるのが肥満です。一般的に平らな道を歩くと膝には体重の約2〜3倍の負担がかかり、階段の昇降には約6〜7倍の負担がかかるといわれています。ふだんから重労働やスポーツをしている人は膝関節にダメージを与えやすいため、発症リスクが高まります。

放置すると認知症のリスクが高まる?

変形性膝関節症を放置すると歩く量や運動量が減少し、活動範囲が狭まることで消費カロリーが減り、肥満が進む可能性があります。また高血圧や高脂血症の



リスクが高まるなど、負のサイクルに陥ってしまいます。膝の痛みによる運動量の低下が脳へ刺激が行き届かなくなり、脳血流量も低下して認知症を招きやすくなってしまいます。単純に膝の痛みだけの問題ではなくなるので注意が必要です。

違和感を感じたら受診を

変形性膝関節症は知らない間にどんどん進行し、自然治癒することはありません。変形性膝関節症にはさまざまな治療方法がありますが、変形が少ない場合は、注射や内服、リハビリなどの保存療法などを行います。しかし、変形性膝関節症の状態によっては手術が必要になる場合もあります。近年は人工関節の手術もナビゲーションやロボットを併用した手術も行われています。

膝の違和感に心当たりがある人は一度受診することをおすすめします。

新倉敷メディカルスクエア

※webから予約可

新倉敷メディカルスクエア

で検索



TEL.086-525-5001

〒713-8102 岡山県倉敷市玉島1719

- 【診療科】 内科・胃腸外科・肛門外科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・泌尿器科
- 【医師】 院長 河合 知則/副院長 河合 毅・河合 亮
- 【休診】 木曜午後・日曜・祝日
※水曜の整形外科はリハビリのみ
- 【併設】 ケアハウス あいの泉・有料老人ホーム あいの泉特養 あいの泉・ショート併設 サービス付高齢者住宅・グループホーム あいの泉

